

## 競技注意事項

1. 大会は、2021年度日本陸上競技連盟規則により行う。  
また、新型コロナウイルス感染症予防の観点により、日本陸連の陸上競技活動再開のガイダンス及び福岡陸協の競技会開催にあたっての新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインを元に競技会を運営する。
2. フィールド競技用シューズのTR5.5については適応除外（国内ルール）とする。これにより招集所での靴底厚確認のための計測は行わない。ただし、国際大会に出場する可能性のある選手が出場する場合、当該競技の競技者に限り靴底厚の確認を実施することがある。
3. 招集について

	招集開始時間	招集完了時間
トラック	競技開始 30分前	競技開始 15分前
フィールド（ハンマー投を除く）	競技開始 60分前	競技開始 40分前
ハンマー投	競技開始 70分前	競技開始 50分前

① 招集所は、本競技場正面玄関横に設ける。

② リレーのオーダー用紙は各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

4. スパイクは平行ピンとする。長さは9mm以下とし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

5. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

高校男子走高跳	練習 1m65・1m80	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	以降3cm～	
高校女子走高跳	練習 1m40・1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	以降3cm～	
高校男子棒高跳	練習 2m80・3m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	以降10cm～
高校女子棒高跳	練習 2m00・2m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	以降10cm～	

\*練習及び開始の高さは気象状況等により変更することもある。

6. 三段跳の踏切板は砂場から男子：11m、女子：9mに設置する。
7. 跳躍競技者・投てき競技者で滑り止めを使用する選手は各自準備すること。
8. 道具の共用による感染リスクを下げるために、投てき種目の道具は各自で持参することが望ましい。
9. 投てき練習場の使用についてはハンマー投の専用とする。
10. 円盤投、やり投の練習は競技開始前に本競技場で行う。サブトラックでは投てき用具を使用しての練習は行わないこと。
11. 投てき種目出場者は、事前練習も含め審判員の指示に従い、事故のないよう留意すること。
12. 選手変更をする場合、変更する選手は申込時に名前を登録している選手（種目に申し込まず、名前だけの登録だけでも可）に限る。招集所で選手変更の用紙を受け取り、総務の確認を受けて、**当日の8:30までに招集所に提出**すること。
13. 棄権をする選手は、必ず棄権届けを提出すること。
14. 競技会中に発生した負傷及び疾病については、主催者において応急処置は行うが、以後の責任は負わない。  
主催者は競技者と審判員対象の傷害保険に加入するが、補償はこの保険の範囲内とする。
15. [個人情報の取り扱いについて]  
福岡陸協で定める個人情報に関する規定を了承し、出場するものとする。また、撮影に関する規定に従って、競技を運営する。
16. その他

- ・競技会参加者は、体調管理チェック表（大会前）を受付時に提出し、体調に問題がないことを伝えて競技会に参加すること。高校生の参加者（選手・補助員）は福岡陸協の大会参加同意書と体調管理チェック表（大会前）の両方を引率者がまとめて提出すること。
- ・本競技会は、無観客で実施する。競技会への参加は競技者、チーム監督・コーチ、競技役員、補助員のみとし、保護者、友人等の応援はできない。
- ・競技場内各室は競技役員、本部役員以外の立ち入りは禁止とする。
- ・チームの監督、コーチにはスタンドへの入場を許可する証明書を発行するため、選手受付で申し出ること。  
証明書は必ず首にかけておくき、帰る際に受付返却すること。
- ・応援は拍手のみとし、声を出すことは禁止する。フィールド種目の応援についても、選手の掛け声に合わせて応援者が声を出すことは禁止とする。
- ・選手の競技場所への入退場は、第1ゲート・第4ゲートからとする。トラック競技ではゴール後、速やかに第1ゲートシャッター外側へ退場をするようにし、ゴールエリアで休息等をしないこと。
- ・ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。（TR6.3.3）